

問1 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた現在の都道府県はどこ？

1. 甲斐 2. 越後 3. 相模 4. 駿河

問2 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住ませた場所を何という？

1. 城下町 2. 港町 3. 宿場町 4. 門前町

問3 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 武田氏 2. 今川氏 3. 朝倉氏 4. 浅井氏

問4 織田信長が本能寺の変で倒れ、天下統一への流れが大きく変わった歴史的な年はいつ？

1. 1575年 2. 1600年 3. 1590年 4. 1582年

問5 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？

1. 御成敗式目 2. 分国法 3. 武家諸法度 4. 公事方御定書

問6 織田信長が城下町の経済を活性化させるために行った、市場の独占や座の特権を廃止した政策を何という？

1. 楽市・楽座 2. 兵農分離 3. 太閤検地 4. 御成敗式目

問7 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 毛利元就 2. 上杉謙信 3. 北条氏康 4. 武田信玄

問8 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武將は誰？

1. 武田信玄 2. 徳川家康 3. 織田信長 4. 豊臣秀吉

問9 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？

1. 鎌倉時代 2. 戦国時代 3. 江戸時代 4. 安土桃山時代

問10 1560年に織田信長が今川義元を破り、天下統一への足がかりを築いた戦いを何という？

1. 桶狭間の戦い 2. 長篠の戦い 3. 姉川の戦い 4. 小牧・長久手の戦い

問11 戦国時代に、自らの領国を安定して支配し、独自の法律である分国法を定めた指導者を何という？

1. 江戸幕府将軍 2. 鎌倉幕府将軍 3. 戦国大名 4. 摂政関白

問12 本能寺の変で信長が倒れたという報せを受け、備中高松城から即座に引き返して明智光秀を討った武將は誰？

1. 織田信長 2. 徳川家康 3. 明智光秀 4. 羽柴秀吉

問13 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 柴田勝家 2. 明智光秀 3. 羽柴秀吉 4. 前田利家

問14 鉄砲伝来をきっかけに日本とヨーロッパ諸国との間で行われた貿易を何という？

1. 南蛮貿易 2. 日明貿易 3. 遣唐使 4. 朱印船貿易

問15 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 足利義昭 2. 武田信玄 3. 今川義元 4. 豊臣秀吉

問16 江戸幕府がキリスト教の広がりを抑えるためにとった政策を何という？

1. 廃仏毀釈 2. 鎖国政策 3. 修学旅行 4. 禁教政策

答え合わせ・解説

問1	答え 2 越後	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍事力と統治力で領土を拡大しました。家臣団をまとめ上げ、民衆の生活を安定させることで強固な地盤を築き、「越後の龍」として恐れられました。
問2	答え 1 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住まわせることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問3	答え 3 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。
問4	答え 4 1582年	1582年、信長は天下統一を目指して中国地方や四国などへ軍を派遣していました。しかし、その最中の6月、信長が京都の本能寺で重臣・明智光秀に裏切られ、自害するという劇的な事件が起こりました。この年を境に、戦国の勢力図は塗り替えられることとなりました。
問5	答え 2 分国法	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。ケンカの仲裁や年貢の徴収など、領地内の細かいルールが定められていました。
問6	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、城下町を繁栄させるために「楽市・楽座」を実施しました。これは、市場から座の特権を廃止し、通行税（関所税）の廃止なども併せて行うことで、誰でも自由に商売ができるようにする政策です。
問7	答え 4 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。
問8	答え 3 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問9	答え 2 戦国時代	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。防御力の高い石垣を持つ城が必要となり、築城技術も大きく進化しました。織田信長などの強力な指導者がこれらを取り入れることで、効率的な軍事編成が可能になりました。
問10	答え 1 桶狭間の戦い	織田信長は圧倒的な兵力差があった今川軍に対し、敵の本陣を急襲する奇襲作戦をとりました。この戦いで今川義元を討ち取ったことは当時の社会に大きな衝撃を与え、信長の名が一躍全国に知れ渡ることとなりました。
問11	答え 3 戦国大名	戦国大名は、自らの力で領地を拡大し、独自の軍事力や支配機構を持って領内を統治しました。分国法を定めて家臣や領民を支配下に置き、城下町を発展させるなど地域経済を動かす中心的存在となりました。
問12	答え 4 羽柴秀吉	1582年、毛利方の備中高松城を包囲していた秀吉のもとに、本能寺の変の知らせが届きました。秀吉は驚異的な速さで引き返し、山崎の戦いで光秀を破りました。この勝利により、秀吉は織田政権内での影響力を圧倒的なものにしました。
問13	答え 2 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問14	答え 1 南蛮貿易	日本が南蛮人（ヨーロッパ人）との間で開始した貿易です。鉄砲や火薬、キリスト教のほか、時計、眼鏡、タバコなどの新しい文化が流入しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、経済の活性化に大きな役割を果たしました。
問15	答え 3 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問16	答え 4 禁教政策	江戸幕府はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を国外へ追放する政策をとりました。信徒に対しては踏み絵を行わせたり、寺請制度で仏教徒であることを証明させたりして、徹底的に監視しました。